



PRTR大賞2005

化学物質管理とリスクコミュニケーション

東洋インキ製造株式会社

会社概要

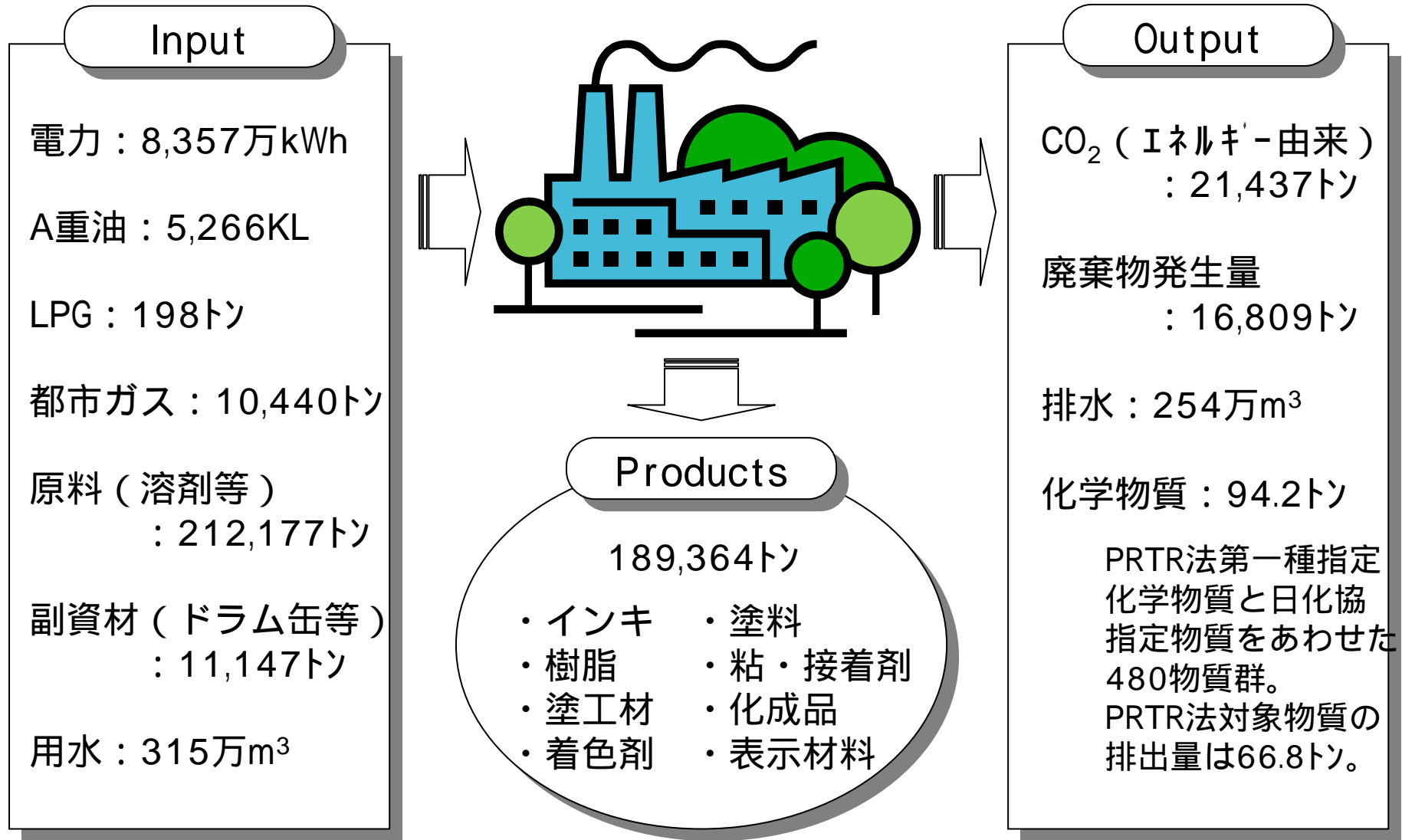


本社：東京都中央区

従業員数：2,106名（単体）
6,164名（連結）

生産拠点：6事業所（本体）
：12社（国内関係会社）
：24社（海外関係会社）

環境負荷マスマランス





化学物質の管理

化学物質リスク管理規則（2003年5月施行）

東洋インキ使用禁止物質

いかなる製品にも意図的に含有させない。

- ・カドミウム及びカドミウム化合物
- ・鉛及び鉛化合物
- ・PBB（ポリブロモビフェニル）類
- ・石綿
- ・結晶性シリカ
- ・ベンゼン
- ・コールタール
- ・塩化ビニルなど14物質

東洋インキ第1種使用制限物質

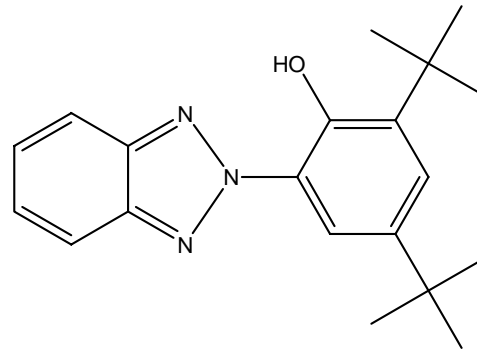
エンドユーザーに渡った段階で1%以上含有しないように配慮する。

東洋インキ第2種使用制限物質

人の皮膚または口腔に直接かつ長時間接触する可能性のある製品用途に使用しない。

2005年11月18日：下記の物質に対し「継続的に摂取される場合には、人の健康を損なうおそれがある」可能性示される

2-(3,5-ジ-tert-ブチル-2-ヒドロキシフェニル)-2H-ベンゾトリアゾール
「チヌビソ320」(CAS RN 3846-71-7)

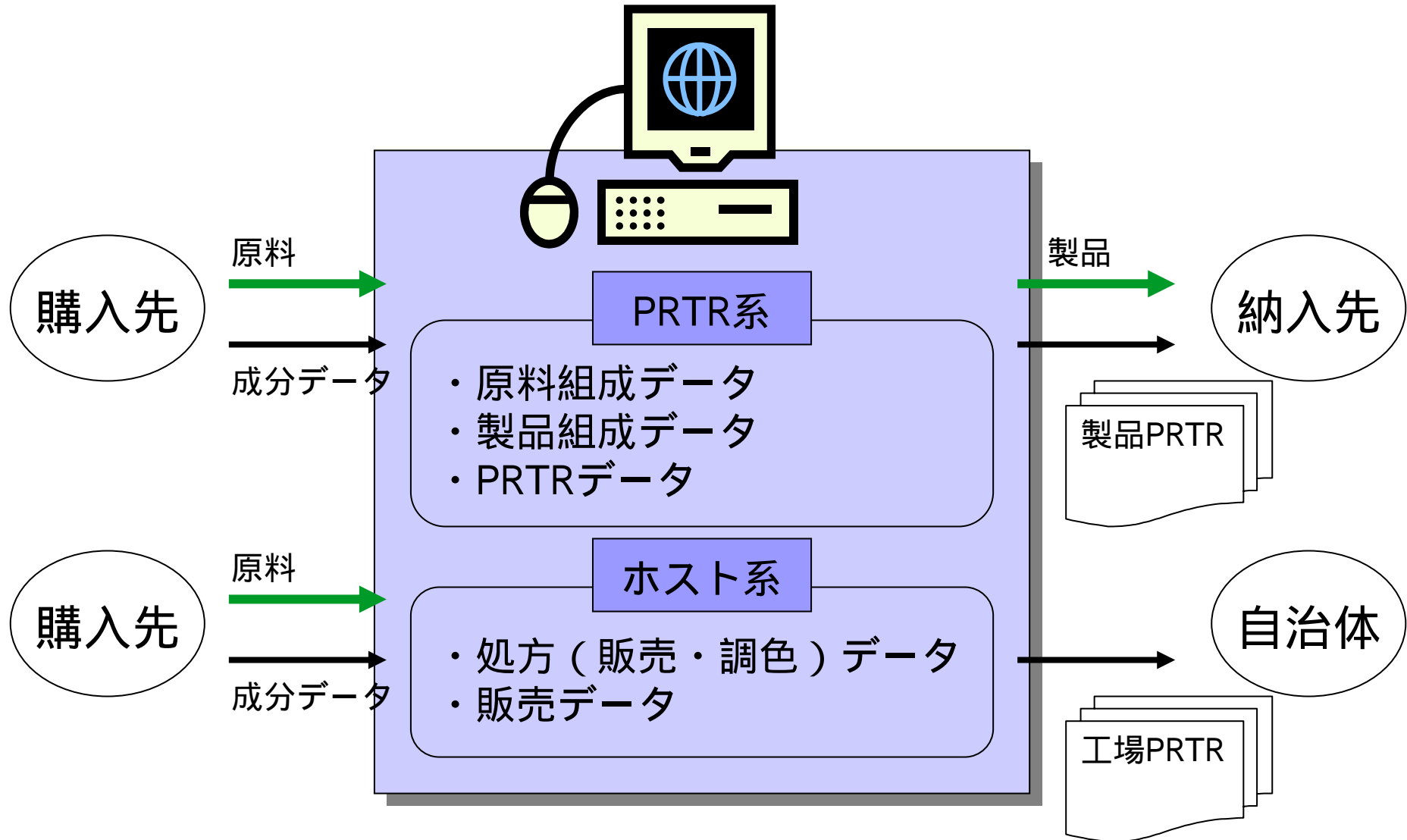


2005年11月28日：当社で使用実績のないことを確認

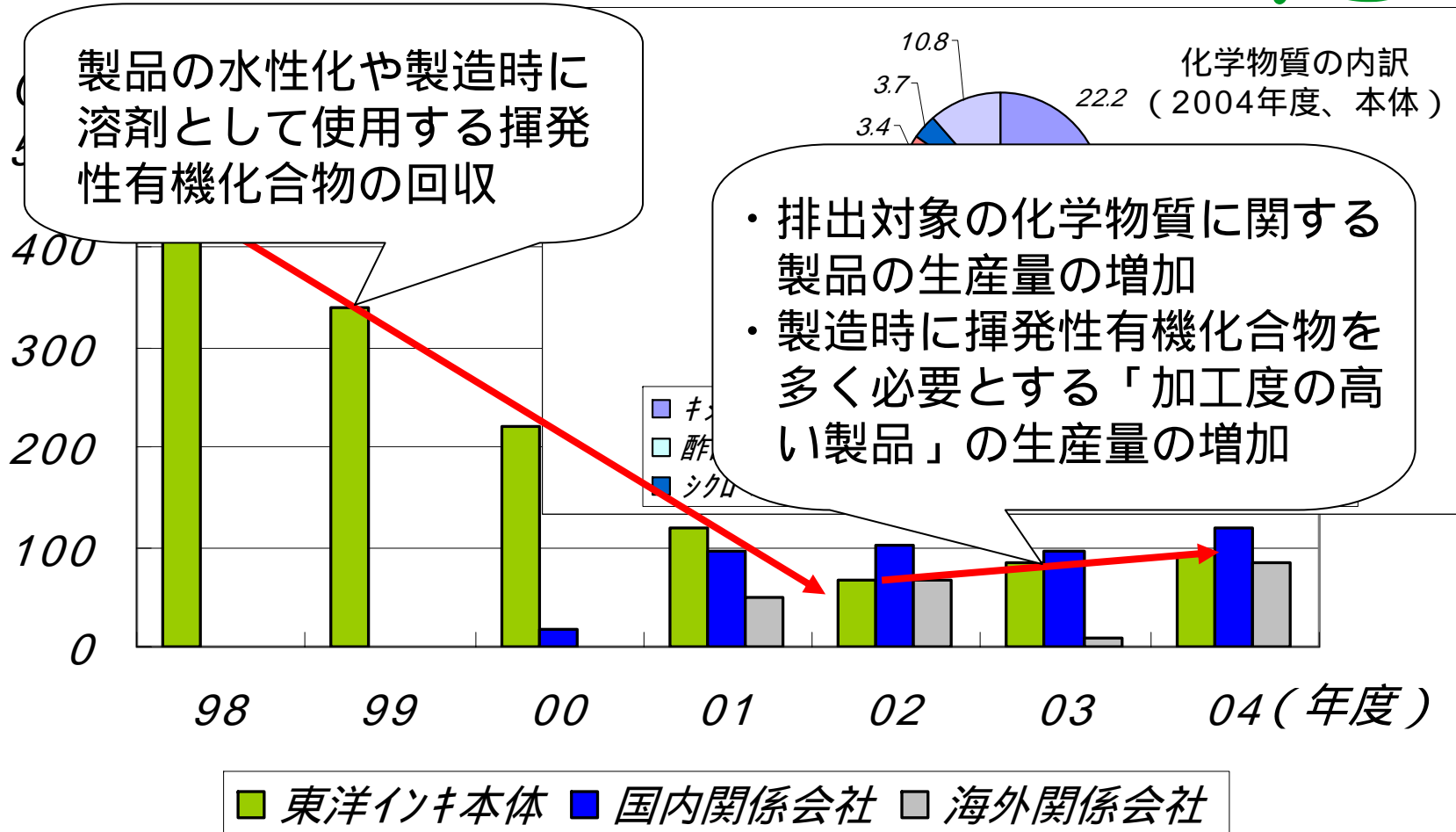
2006年1月12日：「東洋インキ禁止物質」に追加することが了承される

2006年1月13日：第一種特定化学物質として指定することが適当であるとの結論（経済産業省）

東洋インキPRTRシステム



化学物質の排出量の推移



課題：化学物質削減のための具体的な計画・方策の明確化

リスクコミュニケーションモデル事業

環境省のリスクコミュニケーションモデル事業として川越市の「かわごえ環境ネット」主催で実施

実施日：2003年3月10日（月）

2月19日（水）事前セミナーを実施

事業所：東洋インキ製造（株）川越製造所

参加者：「かわごえ環境ネット」関係者28名

内容

10:00～10:20：東洋インキ、川越製造所の概要説明

10:20～10:25：工場見学の説明

10:25～12:00：工場見学

12:00～13:00：昼食

13:00～13:30：東洋インキの環境への取り組みの説明

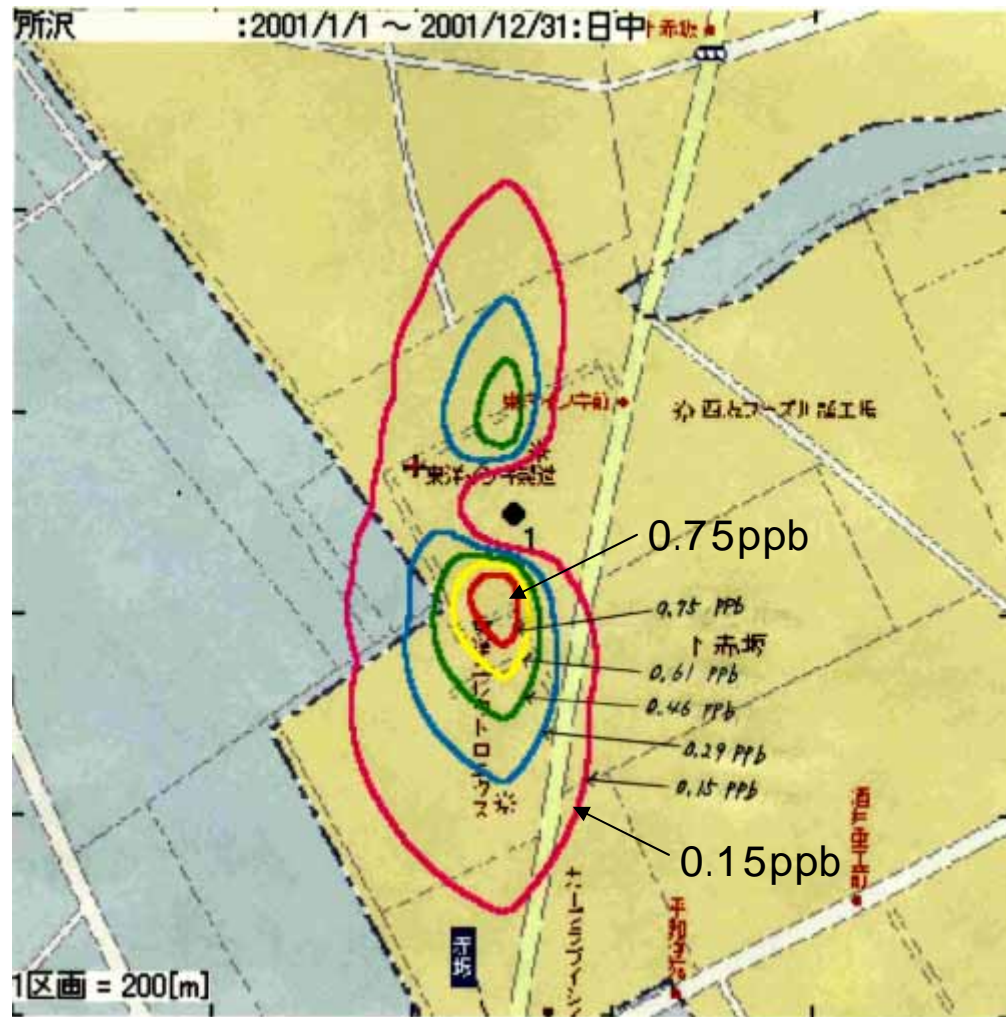
13:30～14:20：川越製造所の環境への取り組みの説明

14:30～15:30：質疑応答

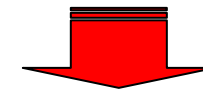
15:30～16:00：講評、アンケート回答



トルエンの大気拡散シミュレーション図



(社)日本化学工業協会ケミカル
リスク研究会が作成したトルエンの
大気拡散シミュレーション図を使用
1年間の気象データを入力



「見えないものを明確にしてい
る情報であり、市民の安心に繋
がる」と高い評価を得る

環境コミュニケーション

名称を「リスクコミュニケーション」から「環境コミュニケーション」に変更

実施日：2004年11月3日（祝）

事業所：東洋インキ製造（株）川越製造所

参加者：32名

近隣6自治会の正副会長

近隣企業の環境担当者

環境省環境保健部 など参加

内容：

10:00～12:30：勉強会

- ・意見交換会のめざすこと
- ・川越市の環境への負荷
- ・市民生活とPRTR制度
- ・PRTR対象物質の説明 など

12:30～13:00：昼食

13:00～14:00：工場見学

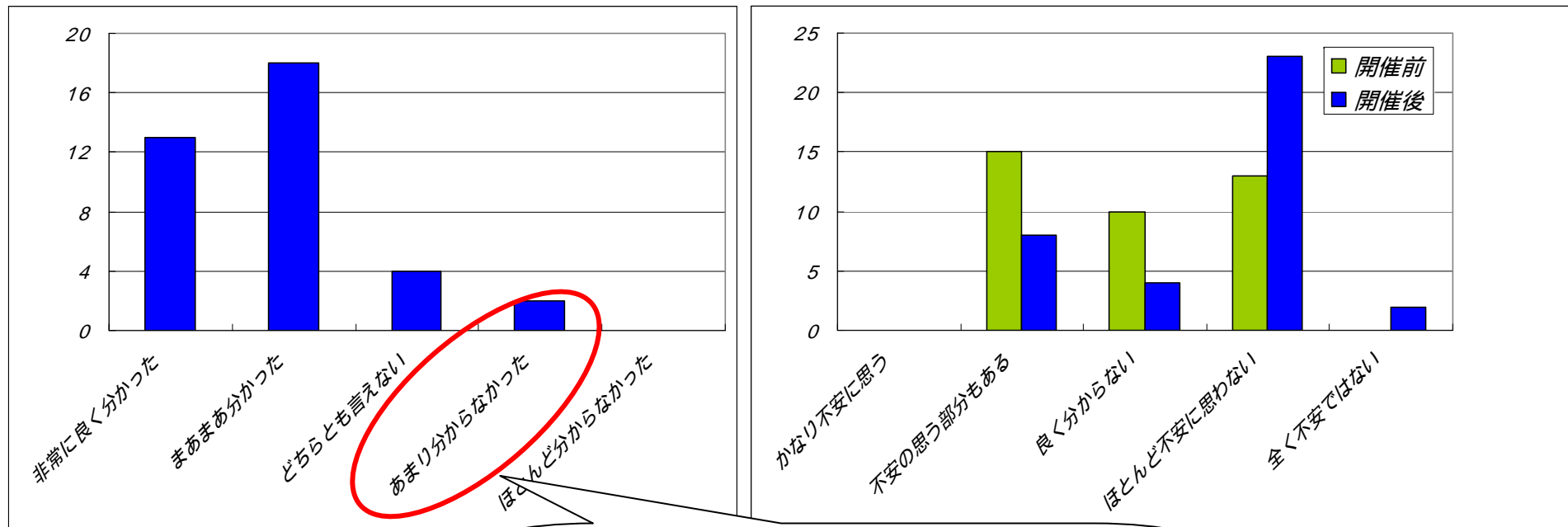
14:10～15:20：川越製造所の環境活動
に関する説明

15:30～16:40：意見交換会



環境コミュニケーションの評価

環境コミュニケーション終了後に、参加者に対して内容の理解や化学物質に対する不安などについてのアンケートを実施



アンケート回答（内容

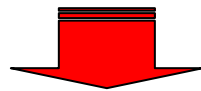
内容を理解してもらうための
より一層の工夫が必要

質への不安)

公害調停とリスクコミュニケーション

2003年1月22日、「さいたま西部ダイオキシン公害調停をすすめる会」と川越製造所の焼却炉廃止についての公害調停を締結

- ・ 焼却施設の見学、土壌等の採取
- ・ 土壌汚染対策法の含有量基準を超過した土壌の掘削除去
- ・ 焼却炉排ガス中の重金属測定
- ・ 焼却炉解体に関する事前説明会の実施



当社の姿勢を「誠実である」と評価していただき、当社は「環境コミュニケーション」への参加を依頼



オリエンタル化成（株）でのリスクコミュニケーション



2004年6月10日、関係会社のオリエンタル化成（株）の土壌・地下水汚染に関して、近隣住民に対する説明会を実施



リスクコミュニケーションについてのまとめ



川越製造所を中心に様々なリスクコミュニケーションを実施

- ・ リスクコミュニケーションモデル事業：2003年3月10日
- ・ さいたま西部ダイオキシン公害調停をすすめる会とのリスクコミュニケーション：2003年4月～
- ・ 有害化学物質削減ネットワーク（Tウオッチ）とのリスクコミュニケーション：2004年9月20日
- ・ 環境コミュニケーション：2004年11月3日



課題：他事業所へのリスクコミュニケーションの水平展開